

## 「文明と観光」 在り方考える

きょうまで県立大

観光をテーマに新しいライフスタイルや地域コミュニティの在り方を考える比較文明学会「文明と観光―新たな文明モデルをめざして」(同学会主催、県立大共催)が13日、静岡市駿河区の同大で始まった。14日まで。

同学会の理事を務める川勝平太知事と同大の鬼頭宏学長によるあいさつに続き、静岡文化芸術大の横山俊夫学長が「文明に赴けば名所も日に新た」と題し



横山学長は江戸時代

「観光は風土や歴史、

広まっているとして、

「文明と観光」をテーマに開かれた学会。静岡市駿河区の県立大

の文献や研究報告を示し、「街並みは当時から旅人に美しく見えるような造りをしてい」と解説。時代の経過とともに「文明観光学」を見いだす試みが文化とセットで考えることができる」などと提唱した。最終日は午後1時45分から、「地域資源を生かした観光」と題した公開シンポジウムを行い、県内の知的文化財や中山間地域の観光資源の魅力に迫る。